

## 平成31年2月開催 福部地域振興会議議事概要

日 時 平成31年2月7日（木） 15：15～17：00  
会 場 福部町コミュニティセンター2階講堂  
出席委員 南部敏、小谷孝文、岸本正枝、上山弘子、平田正雄、北村重政、若狭さつき（順不同敬称略）  
事務局 支所長、副支所長兼地域振興課長、産業建設課長、市民福祉課長、地域振興課課長補佐

### ○ 議 題

#### (1) 福部町のまちづくり構想基本計画（素案）の意見募集結果について

事務局：1月10日から31日までの22日間、意見募集したところ、5人の方から計18件のご意見をお寄せいただきました。

委員A：支えあいマップを通じた自治会への加入促進は、社協ではなく、市が進めるべきと考える。

事務局：市が取り組みを進めるよう表現を改めます。

委員B：住民アンケートを実施する内容となっているが、本当に必要か。

事務局：住民の皆さまの意識調査は、今後、事業を進めていくうえで必要と考えます。区長会などを通じて、なるべくお金をかけないように進めたいと考えます。

#### (2) 福部町のまちづくり構想基本計画（案）について

事務局：意見募集でお寄せいただいた意見をもとに、素案を改訂して案を作成しました。

#### (3) 福部町のまちづくり構想実施計画（素案）について

事務局：前回の会議でお示ししたたたき台をもとに、本課及び関係団体等と協議を進めています。

#### (4) 福部未来学園旧中学校校舎の利活用について【報告】

事務局：教育総務課より、検討の途中経過が示されましたので報告します。旧中学校校舎は、学校施設としての扱いとなるため、「教育目的であり、学校長の許可を得たものについて使用が許可される」との内容でした。

委員B：今後ずっと学校施設として扱われるのか。

事務局：当面そうだと考えられます。

委員C：旧幼稚園（福部地域活性化拠点施設）は給食用味噌の貯蔵庫として利用できるのに、なぜ、旧中学校は利用できないのか。

事務局：旧幼稚園は廃園の手続きが取られ、園舎は普通財産となっているため、給食用味噌の貯蔵庫として営利団体へも利用を許可しています。

委員B：旧幼稚園の調理室は、味噌で占有され、本来の調理業務ができなくなっている。他に貯蔵場所を確保するなどして、調理業務が再開できるようにしてほしい。

事務局：給食用味噌の貯蔵場所については、これとは別に検討したいと考えます。

委員B：旧中学校が工芸や福祉の用途に活用できれば、町のにぎわいにもつながると考えられる。

事務局：教育目的の範囲内でどのような利用が可能なのか、今後、さらなる検討を重ねていきたいと考えます。

以上